ガス暖房専用機

FS-1201BRS-W6

TOHO GAS

取扱説明書

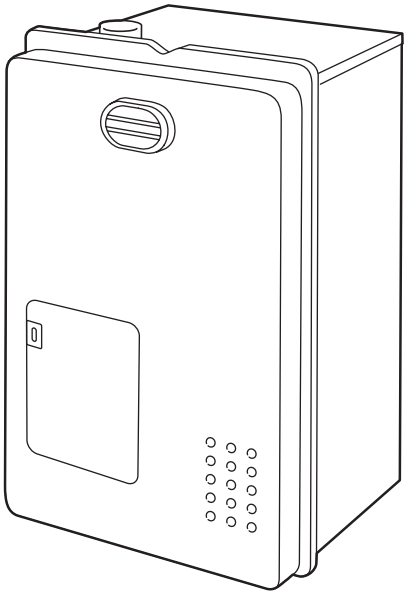
保証書付

型式名　GH-1210W6H-5

ご愛用のみなさまへ

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、ありがとうございました。

- ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みいただき正しくご使用ください。



まずはじめに
必ずお守りください(安全上の注意)‥‥2
各部のなまえとはたらき‥‥‥‥‥‥‥‥6
初めてお使いになるときは‥‥‥‥‥‥‥7

使いかた
暖房(乾燥)する‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥8

必要なときに
暖房水の補給について‥‥‥‥‥‥‥‥‥9
凍結による破損を予防する‥‥‥‥‥‥‥10
日常の点検・お手入れのしかた‥‥‥‥‥12
故障・異常かな？と思ったら‥‥‥‥‥‥13
冬期の入浴について‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥14
アフターサービスについて‥‥‥‥‥‥‥14
主な仕様‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥15
保証書‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥裏表紙

SAR8446②

SAR8446　T

必ずお守りください(安全上の注意)-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

⚠危険

必ずおこなう

ガス漏れに気づいたときは、

1. **すぐに使用をやめる**
2. **ガス栓を閉める**
   メーターのガス栓も閉める
3. **「ガスくさい場合(緊急)」の連絡先に連絡する**

ガスくさい場合(緊急):
東邦ガスネットワーク株式会社

◆24時間承ります
愛知県:052-872-9238
岐阜県:058-272-0088
三重県:059-224-0225
※耳や言葉の不自由なお客さまはFAXをご利用ください。
FAX:052-872-8297

火気禁止

ガス漏れ時は、絶対に

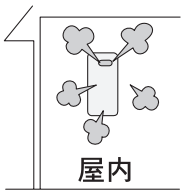
- **火をつけない**
- **電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切をしない**
- **電源プラグの抜き差しをしない**
- **周辺の電話も使用しない**

火や火花で引火し、火災の原因になります。

禁止

屋内に設置しない

一酸化炭素中毒の原因になります。

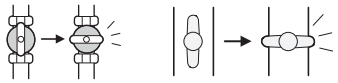


⚠警告

必ずおこなう

地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う

1. **放熱器の運転スイッチを「切」にする**
2. **ガス栓・給水元栓を閉める**



点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合や、使用途中で消火する場合は、ただちに使用を中止しガス栓を閉める

使用中に異常があった場合は、「故障・異常かな?と思ったら」(☞P13)にしたがい処置をする

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、上記「ガスくさい場合(緊急)」の連絡先に連絡する

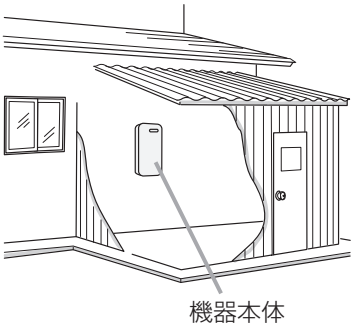
(つづく)

（つづき）

禁止

増改築などで屋内状態にしない（波板囲いなどをしない）

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



必ずおこなう

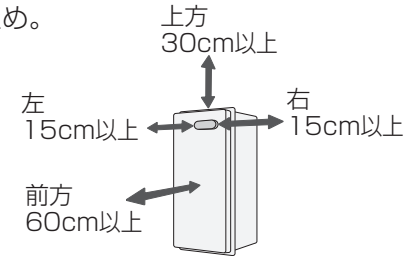
ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要なため、機器の設置・移動および付帯工事は、販売店または、当社事業所に依頼する

安全に使用していただくため。

必ずおこなう

燃えやすい物とは離す（樹木、木材、箱など）

火災予防のため。



必ずおこなう

【排気方向を上方へ変更するカバーを取り付けている場合】カバーに雪が積もっていたら、除雪する

雪で排気が閉塞すると、不完全燃焼や機器の故障の原因になります。

禁止

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを、機器本体や排気口のまわりに置かない、使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

禁止

灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器のまわりで使用しない

火災の原因になります。

禁止

燃えやすい物をまわりに置かない（洗濯物、新聞紙、灯油など）

火災の原因になります。

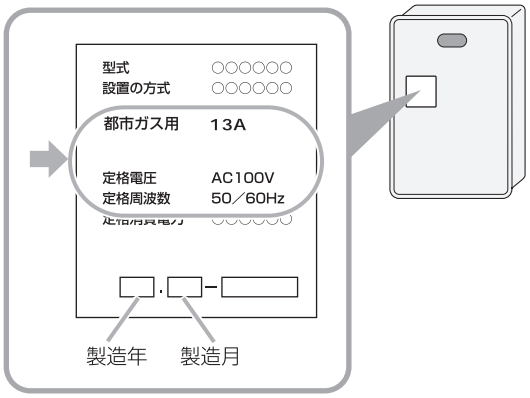
禁止

外壁の塗装や増改築、建物の修繕時などに機器本体が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない

不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発点火の原因になります。

必ずおこなう

必ず銘板に表示のガス・電源で使用する



表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。
特に転居した場合は、必ずガスの種類（電源の種類）が一致しているかどうか確認してください。
わからない場合は、販売店または、当社事業所に連絡してください。

禁止

機器本体やガスの配管、排気口などに乗らない

けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

分解禁止

お客さまご自身では絶対に分解・修理・改造はおこなわない

一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障の原因となります。

禁止

【床暖房が設置されている場合】床暖房の上で長時間座ったり、寝そべったりしない

低温やけどを起こすおそれがあります。
特に次のような方が使用される場合はまわりの方が注意してあげることが必要です。

＊乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かせない方
＊疲労の激しいとき、深酒したとき
＊皮膚や皮膚感覚の弱い方

（つづく）

必ずお守りください(安全上の注意)-2

(つづき)

禁止

傷んだ電源プラグ、緩んだ電源コンセントは使用しない

感電、発熱による火災の原因になります。

禁止

電源コード、電源プラグを破損させない、加工しない

束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。

感電、ショート、火災の原因になります。

ぬれ手禁止

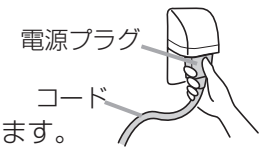
感電注意

電源プラグはぬれた手でさわらない

感電の原因になります。

必ずおこなう

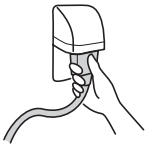
電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く



コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

必ずおこなう

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不充分だと、感電や火災の原因になります。

必ずおこなう

電源プラグのホコリは定期的に取る

ホコリがたまると、火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

必ずおこなう

必ずアースする

機器が故障した場合、感電の原因になります。

⚠注意

禁止

【床暖房が設置されている場合】
床暖房の上に電気カーペットを敷かない

床材の割れ、そり、すき間の原因になります。

床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したり、くぎ打ちなどをしない

温水パイプが破損します。

接触禁止

使用中や使用後しばらくは、排気口付近に触れない

やけど予防のため。

禁止

暖房・乾燥以外の用途には使用しない

思わぬ事故を予防するため。

必ずおこなう

機器の給気口がホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する

不完全燃焼の原因になります。

必ずおこなう

機器の点検・お手入れや、機器の水抜きをする場合は、機器が冷えてからおこなう

やけど予防のため。

必ずおこなう

機器取り替えと乾電池に関するお願い

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。
もしお客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

禁止

給気口、排気口に指や棒を入れない

ケガや故障の原因になります。

禁止

子供を機器の周囲、直下で遊ばせない

思わぬ事故の原因になります。

【不凍液を使用している場合】
不凍液は3年に1度、当社指定の不凍液に交換する(☞P12)

交換せずに使用された場合は、防サビと凍結予防の効果がなくなり、機器や暖房放熱器が破損するおそれがあります。交換の際は、販売店または東邦ガス修理受付ダイヤルにご相談ください。

お願い

電源プラグを抜く

ぬれ手禁止

感電注意

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く（またはブレーカーを落とす）

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷がやんだあとは電源プラグをコンセントに差し込んでください。

※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。
※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。

ぬれた手でさわらない
（感電のおそれがあります）

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

【給水配管がある場合】
温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。
この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

植物やペットなど、排気ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものを、排気口の周囲に置かない

排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する
増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に充分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。
また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。
（機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、当社事業所に確認してください）

凍結による破損を予防する（☞P10〜11）

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。
凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする（☞P10〜11）

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

積雪時には給気口、排気口の点検、除雪をする

雪により給気口、排気口がふさがれると、機器の故障の原因になります。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

使用時の点火、使用後の消火を確認する

ガス事故防止のため。

停電すると（または電源プラグを抜くと）、運転が停止します

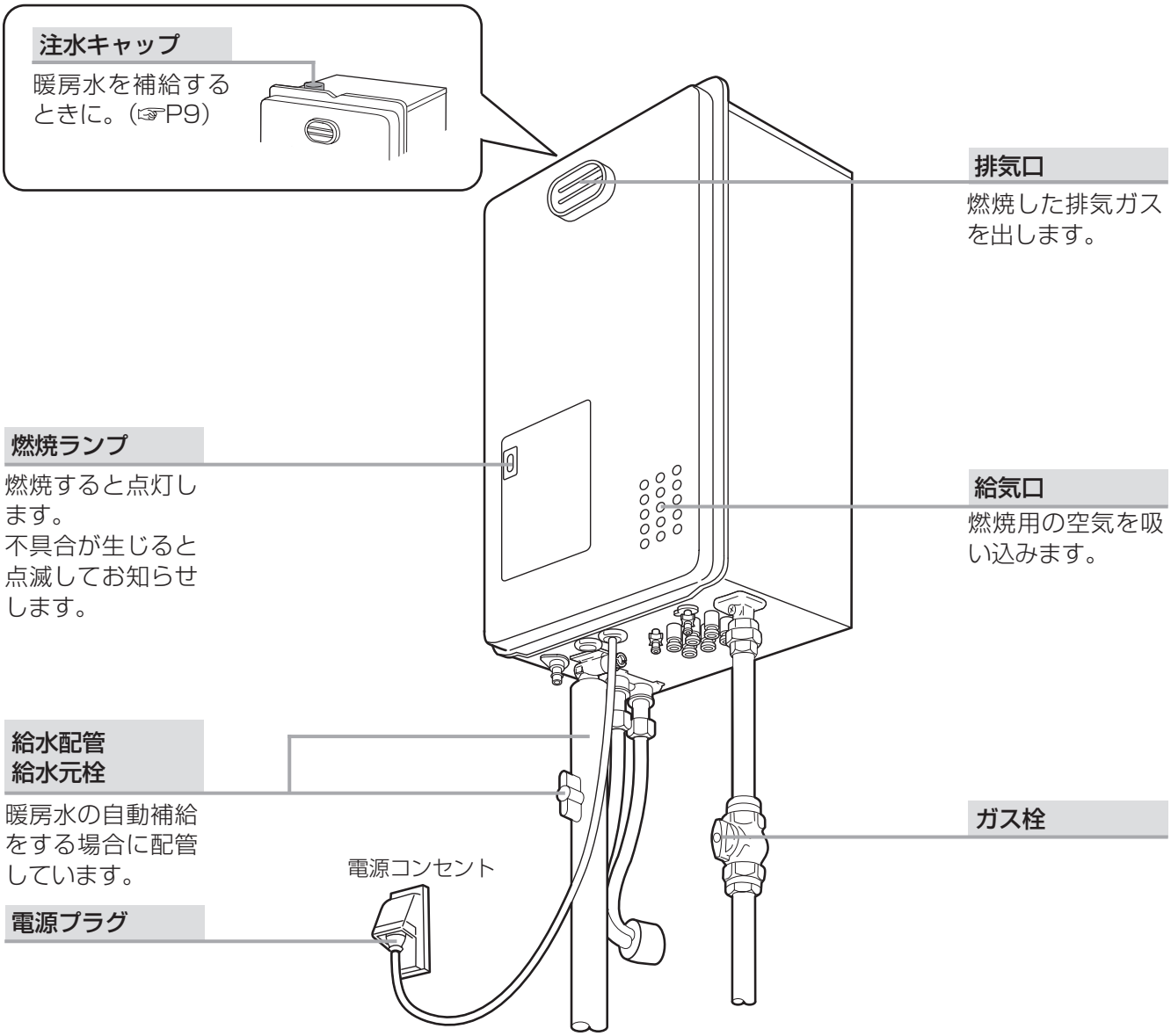
放熱器の取扱説明書もご覧ください。

業務用の用途では使用しない

この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

各部のなまえとはたらき(機器本体)

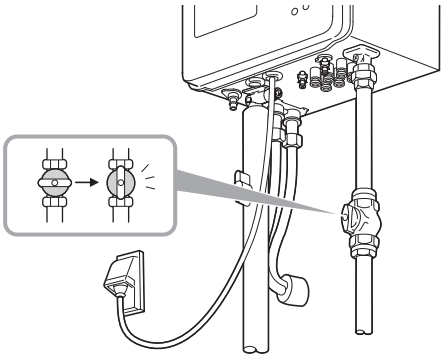
＊イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。



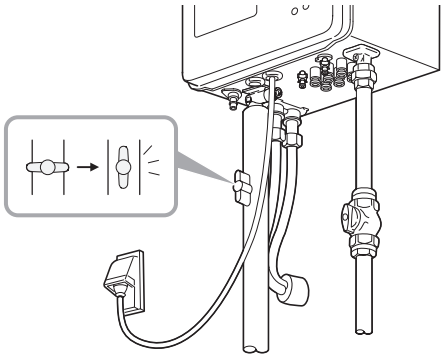
初めてお使いになるときは

＊初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1 ガス栓を全開にする

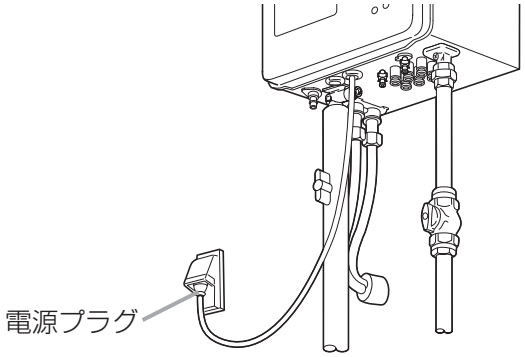


2 【給水配管のある場合】
給水元栓を全開にする



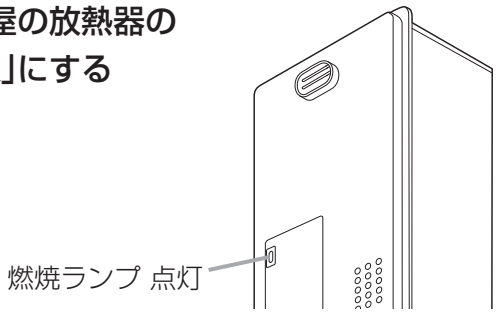
3 電源プラグを電源コンセントに差し込む

ぬれた手でさわらない



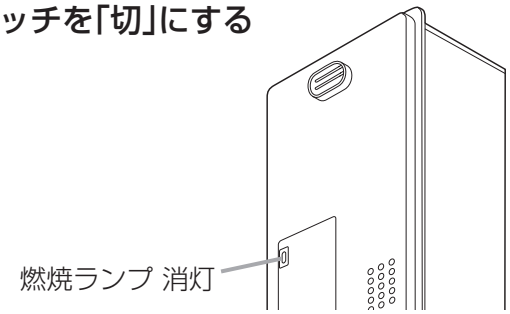
4 放熱器の準備をする
（放熱器の取扱説明書をご覧ください）

暖房(乾燥)する

操作	お知らせ
1 暖房(乾燥)する部屋の放熱器の運転スイッチを「入」にする 	＊機器が燃焼すると機器の燃焼ランプが点灯します。 ＊運転中でも燃焼が停止して燃焼ランプが消えることがあります。
2 (放熱器に温度調節機能がある場合) 放熱器で温度を調節する	

● 暖房(乾燥)を停止するとき

放熱器の運転スイッチを「切」にする



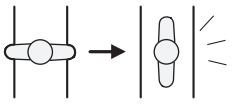
＊放熱器の運転方法・温度調節の方法については、放熱器の取扱説明書をご覧ください。

暖房水の補給について

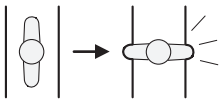
給水配管がある場合

暖房水の補給は必要ありません（暖房水は自動的に補給されます）

＊給水元栓は、開いたままにしておいてください。



＊万一、機器や放熱器から水が漏れたときには、給水元栓を閉めてください。



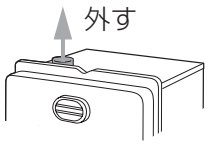
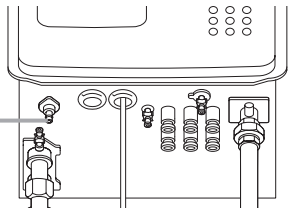
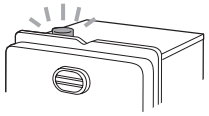
＊必ず、水道水を利用してください。
温泉水・井戸水・地下水などを使用すると、機器の故障の原因となる場合があります。

給水配管がない場合

暖房水の定期的な補給が必要です

機器の燃焼ランプが断続3回点滅してお知らせした場合は、暖房水が減っていますので、補給が必要です。
（このとき、放熱器の運転スイッチを入れても運転しません）

⚠注意	❗	運転直後は機器が高温になっていますので、冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。		

操作	お知らせ
1 放熱器の運転スイッチを切る	
2 注水キャップを外す 	＊暖房水が高温になっていると湯気が出ることがありますので、冷えてから外してください。
3 やかんなどで水を補給する ※オーバーフロー口から水が出るまで 	＊必ず水道水を使用してください。 温泉水・井戸水・地下水などを使用すると故障の原因になります。
4 手ごたえを感じるまでしっかり注水キャップを取り付ける 	

＊暖房水の補給は4か月に1回程度ですが、暖房・乾燥の使用時間により異なります。
＊水の減りかたが早かったり、急に早くなった場合は、水漏れしている可能性があります。
販売店または、東邦ガス修理受付ダイヤルにご連絡ください。

凍結による破損を予防する

お願い	凍結による破損を予防する

＊暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
＊凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

機器内は凍結予防ヒーター（循環ポンプ）で自動的に凍結予防します

■電源プラグを抜くと凍結予防しないため、電源プラグは抜かない

＊給水配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。（わからないときは、販売店に確認してください）

■暖房回路を凍結予防するためには、ガス栓を開いたままにしておく

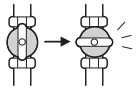
＊気温が下がってくると、自動的に暖房運転（燃焼）して暖房回路の水をあたため、凍結を予防します。
（放熱器の種類によっては、暖房回路の凍結予防ができない場合があります）
＊不凍液を使用している場合もあります。（機器フロントカバーのラベルで確認してください）

長期間使用しないとき

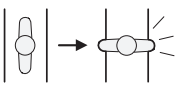
不凍液が入っているかどうかを機器フロントカバーのラベルで確認し、不凍液が入っている場合・入っていない場合のそれぞれに適した処置をしてください。

■不凍液が入っている場合の処置

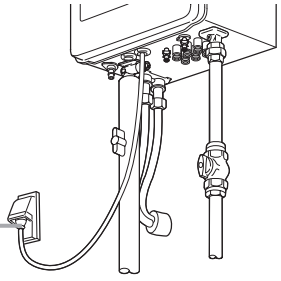
1 ガス栓を閉める



2 【給水配管がある場合のみ】
給水元栓を閉める



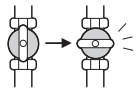
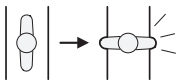
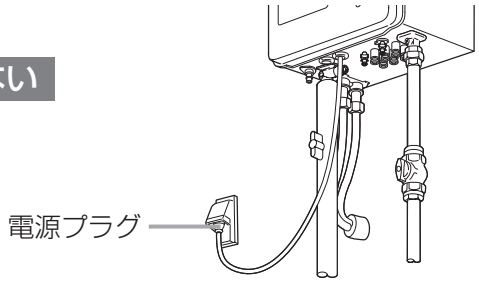
3 電源プラグを抜く
ぬれた手でさわらない

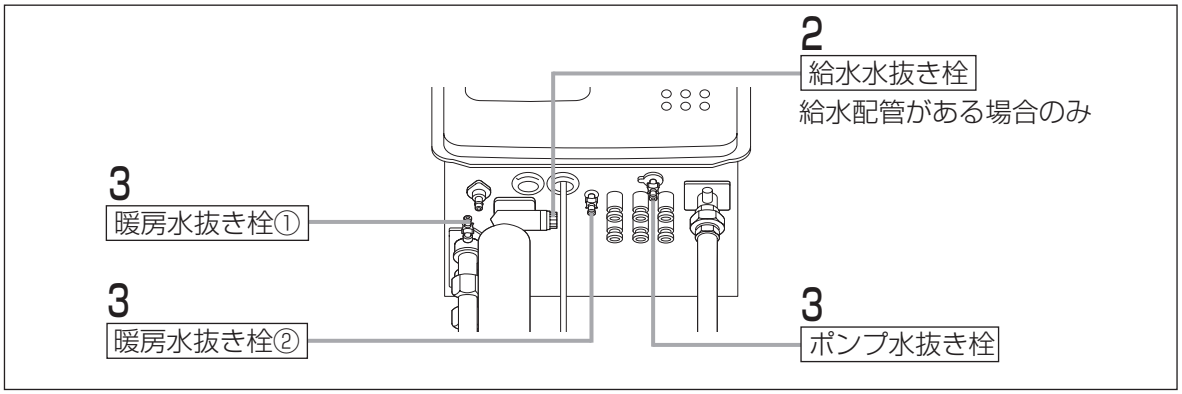


■不凍液が入っていない場合の処置

⚠注意	機器の水抜きをする場合は、機器が冷えてからおこなう
やけど予防のため。	

下枠のイラストを参照してください。

操作	お知らせ
1 ガス栓を閉める 	
2 【給水配管がある場合のみ】 1. 給水元栓を閉める 2. 給水水抜き栓を左に回して開ける 	＊排水します。
3 暖房水抜き栓①②、ポンプ水抜き栓を左に回して開け、排水し、10分以上そのままにしておく	＊放熱器や暖房配管の凍結予防はできません。（凍結する場合があります）
4 完全に排水したら、すべての水抜き栓を閉める	
5 電源プラグを抜く ぬれた手でさわらない 	



● 再使用のとき ●

1. すべての水抜き栓が閉まっていることを確認する。
2. P7「初めてお使いになるときは」の手順で運転の準備をしてください。

日常の点検・お手入れのしかた

⚠注意		機器の点検・お手入れをする場合は、機器が冷えてからおこなう
やけど予防のため。 暖房使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。		

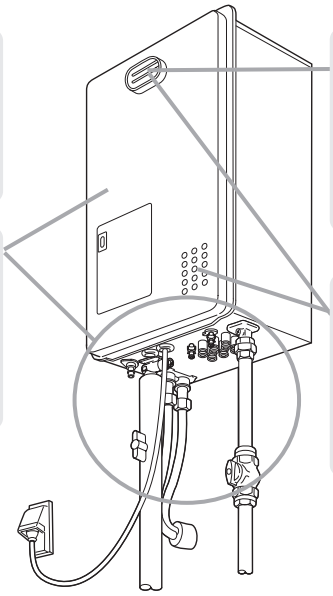
点検(定期的に)

チェック 機器や排気口のまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？

➡燃えやすいものを置かない。

チェック ＊機器の外観に異常な変色や傷はないか？
＊運転中に機器から異常音が聞こえないか？
＊機器・配管から水漏れはないか？

➡現象があった場合は、販売店または、東邦ガス修理受付ダイヤルにご連絡ください。



チェック 排気口にススがついていないか？

➡ついていたら、販売店または、東邦ガス修理受付ダイヤルにご連絡ください。

チェック 排気口、給気口がほこりなどでふさがっていないか？

➡ふさがっている場合は、掃除する。

お手入れ(定期的に)

● 機器本体 ●

＊機器本体の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。
＊海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、潮風によって、機器本体および配管接続部にさびが発生する場合があります。
さびがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。

● 不凍液をご使用の場合の 種類と交換（有料）について ●

※機器正面の下部にあるラベルで、不凍液が入っているかどうか確認できます。
【不凍液の種類】 必ず指定の不凍液をご使用ください。
【不凍液の交換】 不凍液は3年に1度交換してください。交換せずに使用された場合は、防サビと凍結予防の効果がなくなり、機器や暖房放熱器が破損するおそれがあります。
交換の際は、販売店または、東邦ガス修理受付ダイヤルにご相談ください。

● 定期点検のすすめ(有料) ●

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障・異常かな？と思ったら

＊確認：確認していただきたい事項です。

? 運転しない

＊確認 停電していませんか？
＊確認 電源プラグが抜けていませんか？

? 運転しない 機器の燃焼ランプが1回ずつ点滅する（●○○○○○）

＊確認 ガス栓は全開になっていますか？
ガス栓を全開にして、電源プラグをコンセントから抜き（燃焼ランプ消灯）、再度コンセントに差し込むと使用できます。

? 運転しない、または途中で運転が止まる 機器の燃焼ランプが3回ずつ点滅する（●○○●○○）

＊暖房水が不足しています。暖房水を補給してください。（☞P9）

? 放熱器を使っていないのに燃焼ランプが点灯する

＊凍結予防のため、ポンプが自動的にはたらいて燃焼します。

? ポンプの回転音（ウーン）がする

＊気温が下がると、凍結予防のためにポンプを作動させます。
＊長期間使用しない場合に、暖房回路内にたまった空気を抜き、次回使用するときに支障がないようにするためにポンプが自動的に回ります。
（約1ヶ月ごと）

? 床面がなかなかあたたまらない

＊床仕上げ材の種類・外気温度・住宅構造等によって、あたたかくなるまでの時間は異なります。
（目安：1時間程度）

? 床面のあたたかさが場所によって異なる

＊温水配管内に温水を循環させて床をあたためるしくみになっています。温水配管の通っているところと通っていないところでは、床面の温度に若干の差が生じます。

? 床暖房の温度変更をしていないのに床面の温度が下がった

＊床暖房しはじめは、早く床面をあたためるために高温の温水を流し、ある程度時間がたつと、温水を一定の温度に下げます。故障ではありません。

? 床暖房中に音がする

＊床暖房の熱によって、温水床暖房マットや床仕上げ材などが収縮・膨張するため発生する音で、もしくは温水の流れる音で、異常ではありません。

? 床暖房を使用していないのに床があたたまることがある

＊床暖房回路内にたまった空気を抜くために、約1ヶ月ごとにポンプが自動的に回ります。このときに他の暖房端末（浴室暖房など）を使用していると、床の温度が一時的に若干上昇する可能性があります。

? 床面の足ざわりが場所によって異なる

＊温水配管の接続部や温水配管などがあるため、床面の足ざわりが周囲と異なる場合があります。

? 床面に凸凹や段差がある

＊温水床暖房マットを2枚以上併設しているときや、床仕上げ材と周辺の継ぎ合わせ部等には多少の凸凹があるため、光の当たり具合により目立つことがあります。

? 床面の継ぎ目に隙間がある

＊暖房を使用することにより、乾燥して仕上げ材が収縮し、継ぎ目にわずかな隙間が生じる場合があります。

? 床面が変色した

＊床仕上げ材に直射日光が長時間当たると、日焼けによる変色やひび割れが生じる場合があります。カーテンやブラインドなどでさえぎるようにしてください。

● 以下の場合は、販売店または、東邦ガス修理受付ダイヤルにご連絡ください ●

＊上記以外の機器の燃焼ランプの点滅表示（例：2回ずつ点滅する など）が出るとき
＊上記の確認・処置をしてもなお異常のあるとき
＊その他、わからないとき

冬期の入浴について

冬期など浴室･脱衣室と居室の温度差が大きいときは、急激な温度変化による身体への悪影響(ヒートショック)によって、特に高齢者は入浴時の事故につながるおそれがあります。入浴時に暖房機器で浴室と脱衣室をあたためるなどしてください。浴室をあたためるには､シャワーでお湯を流したり､浴槽にふたをしないでお湯はりする方法もあります。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P13の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、東邦ガス修理受付ダイヤルにご連絡ください。

● 連絡していただきたい内容 ●

品番 ‥‥‥‥‥ 機器正面に貼り付けてある銘板
または保証書をご覧ください
(銘板貼付位置はP3参照)
お買い上げ日 ‥ 保証書をご覧ください
異常の状況 ‥‥ できるだけくわしく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。
(工事店にご相談ください。)

● ガス機器修理のお申し込みは ●

東邦ガス　修理受付ダイヤル

ナビダイヤル 0570-070456 (オナオシコール)

・IP電話・海外からご利用のお客さまは052-889-2828へおかけください。
・24時間365日訪問予約を承ります。
・東邦ガスの都市ガスをお使いいただいているお客さまの家庭用ガス機器について、19時までにご連絡をいただければ、当日21時までのご訪問も可能です。

保証について

この取扱説明書の最終ページには保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

BL認定品には、機器の前面にBLマークを表示しています。
BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。
(財)ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは､機器(銘板)に表示してあるガスの種類･電源(電圧･周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先のガス事業者、販売店または、当社事業所にご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。
※ガスの種類によっては改造・調整できない場合があります。

主な仕様

・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
・使用ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕　様　表

品番		FS-1201BRS-W6
型式名		GH-1210W6H-5
種類	暖房方式	温水循環方式
	設置方式	屋外設置形
点火方式		放電点火式
膨張タンク有効容量〈L〉		0.8
外形寸法〈mm〉		高さ 600 × 幅 350 × 奥行 240
質量(本体)〈kg〉		20.5(満水時22)
接続口径	ガス	R1/2
	暖房	高温側･･･CCHジョイント 低温側･･･CHジョイント×6
	オーバーフロー	R1/2
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)
	消費電力(50/60Hz)〈W〉	160/160
	待機時消費電力〈W〉	2.7
温度制御方式		電子式ガス比例制御方式
安全装置		立消え安全装置、空だき安全装置、空だき防止装置、過熱防止装置、 凍結予防装置、過電流防止装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、 暖房ポンプ回転検知装置、停電安全装置、漏電安全装置

能　力　表

使用ガス		ガス消費量〈kW〉	標準出力(能力最大時)〈kW〉
都市ガス用	13A	14.5	12.1

保　証　書

品　番	FS-1201BRS-W6

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この保証書は、東邦ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。
万一故障いたしましたときは、本書をご提示の上、お買い上げの販売店、または東邦ガスに修理をご依頼ください。

記

1. 保証期間は、お買い上げ日から2年間とし、本体を対象といたします。
   なお、下記部品については以下の年数を保証いたします。
   熱交換器 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 3年
2. 保証期間内でありましても次の場合には有料修理といたします。
   (1) 取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の故障および損傷。
   (2) 一般家庭用以外に使用された場合の故障および損傷。
   (3) 指定規格以外のガス、電気、または熱媒等をご使用したことに起因する故障および損傷。
   (4) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
   (5) 火災、凍結、塩害、地震、風水害、落雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流・電圧・周波数・電磁波、犬・猫・ねずみ・鳥・くも昆虫等の動物の行為、その他天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障および損傷。
   (6) 器具を調整、改造された場合の故障および損傷。(ただし、当社都合の場合は除く。)
   (7) 建築躯体の変形等、当製品以外に起因する故障および損傷。
   (8) 音、振動、塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
   (9) 本書のご提示がない場合。
   (10) 本書にお買い上げ日、販売店名・住所の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   (11) 消耗部品の取り替えおよび保守などの費用。
   (12) 電気、給水のトラブル等に起因する故障および損傷。
   (13) 給水・給湯配管などの錆び等、異物混入に起因する故障および損傷。
   (14) 温泉水、井戸水、地下水を給水したことに起因する故障および損傷。

お買い上げ日	年　　月　　日

販売店名・住所 電話　　(　　)

保証履行者　**東邦ガス株式会社**　〒456-8511　名古屋市熱田区桜田町19番18号

保証責任者　**株式会社ノーリツ**　〒650−0033　神戸市中央区江戸町93番地

お客さまへ
1. この保証書をお受け取りになる時にお買い上げ日、販売店名・住所が記入捺印してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理などにつきましては取扱説明書をご覧ください。
4. この保証書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
5. 無料修理やアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの販売店、または東邦ガスにお問い合わせください。

修理記録

年　月　日	修　理　内　容	サービス員 印